

## IRONMAN 70.3 WORLD CHAMPIONSHIP 2019.9.8

### NICE FRANCE BY MASSAN

初めてのフランス、せっかくなのでパリでエッフェル塔・凱旋門・ルーブル美術館を観光してから、フランスの新幹線 TGV に乗ってニースへと乗り込みました。切符の手配やスケジュールの手配は欧州に何度も参戦されている坂尻さんにお任せです。ところが、坂尻さんが出発直前の交通事故で急遽不参加となり不安いっぱいの幕開けです。

ニースに到着してバイク組み立てを始める。バイクケースからリヤホイールを取り出すとスプロケが床のぼとりと落ちて歯車がバラバラに、こんなの初めてどうしょ？分かる範囲で組み立てバイクに装着するもペダルを踏んでも空回り、選手受付会場のバイクメンテナンスにもって行くしかありません。

選手登録に行ったら本当に医師の診断書のコピーが必要なのに驚きました。バイクメンテナンスには 100 人以上の行列が来ています。困ったなと思っていると CEEPO のバイクブースがあり、そこで診てもらうことに、でもそのスタッフでは歯が立たず、スタッフが店の前のレンタルホイール屋に頼んで治して貰えました。おまけに CEEPO のジャージとボトルをプレゼントしてもらえてラッキー、気分は地獄から天国へテンションは上がりました。

レース当日、起床 5:00、宿を 6:15 に出発、会場に向かいます。バイクトランジットは 7:00 に締め切られるのでそれまでにバイクの点検とサプリ・ボトルの補給を済ませないと。ウエットスーツは当日朝 5 時の水温が 24.5 度以下で着用です。前日に開催された女子は着用しており、今朝の気温も 20 度を切っていたので、間違いなくウエットスーツは着用と信じ切っていました。ところがウエットスーツを抱えて戻ってくる選手とすれ違えます。会場に着くとまさかのノーウエットです。私はバイクジャージの上にウエットスーツを着用するつもりでいたのです。バイクパンツだけで泳いでもいいのですが、裸でバイクトランジットエリアに入れず、宿に帰り、上着をトライウエアに着替えることにしました。

いよいよ8:09 スイムスタート、ウェーブスタートなのでたいしたバトルはありません。ニースの真っ青な海を1.9km スイム、一つ目のブイを回ると向かい波となり地中海の辛い海水を幾度となく飲みます。トライウエアは首回りから海水が入って抵抗になりスイムアップは少し遅めです。

バイクは90km、いくつかの村々で声援を受けながら通過、見晴らしのいいロードを1000m登っていきます。下りは山側を走行するので、思っていたより恐怖はなく、眼下にニースの海を眺めながらスキーのスラロームよろしくどンドン気持ちよく下っていきます。

ランは美しい海と青空を眺めなら海岸線の歩行者専用道をコートダジュール空港までの往復を2回の21kmです。前日から調子の悪かったお腹がついに限界に達して、トイレに駆け込むこと3回、エイドごとにトイレがあって本当に助かりました。

目標タイムより1時間以上遅くゴールに到着したのに、日の丸の国旗で応援の彩さんが待っていてくれました。本当に涙が出るほど嬉しかった。その国旗を翻して晴れ晴れとゴールできました。

これも一緒に練習してもらった、KTCのメンバーのおかげと感謝します。

